

会計部会

潜入ルポシリーズ

補習校の

未来を

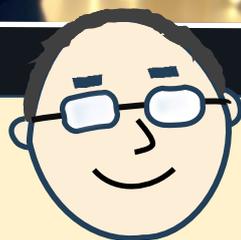
背負う者たち



「この物語は、補習校 PTA の近年の財政状況を憂い、改善に挑む選ばれし精鋭が、情熱と決意をもって資金調達に奔走する姿を赤裸々に綴った記録である。」(ナンテネ…)



みなさん、こんにちは。ルポ隊員のアランTです。



さて、みなさんは、補習校 PTA の会計部と聞いて、どんなイメージが浮かぶでしょうか？外部からは少し見えにくいかもしれませんが、会計部は華やかな補習校 PTA 活動を支える大切な財政を担っています。不定期に部会を開催されていると聞いたので、記者も身分を隠し、通りすがりのおっさんと称して興味津々で潜入取材を敢行してまいりましたのでここに報告します。

会計部のみなさんが普段どのような活動を行っているのかについても、取材を行いました。

常に冷静で落ち着いた橋本さんは、会計部の知的リーダーシップを担当しています。今年度、補習校で初めて電子決済を導入しました。

古本市でのお金の取引が発生する場合、現金ではなくカード決済およびQRコード決済が使用できるようになりました。今年度の古本市では生徒が保護者の方と一緒に来た際に、キャッシュレスで支払うことができるようになります。

購入者にとっても、主催者側にとっても、細かいお金の計算をする必要がないため、便利です。全額を簡単にPayPalで処理できますからね。補習校初の電子決済です。



PayPal アカウントの NPO 法人への移行においても橋本さんにリーダーシップを発揮していただきました。これにより手数料の優遇などの恩恵を受けることができるようになったそうです。

Scan. Pay. Go.



PayPal

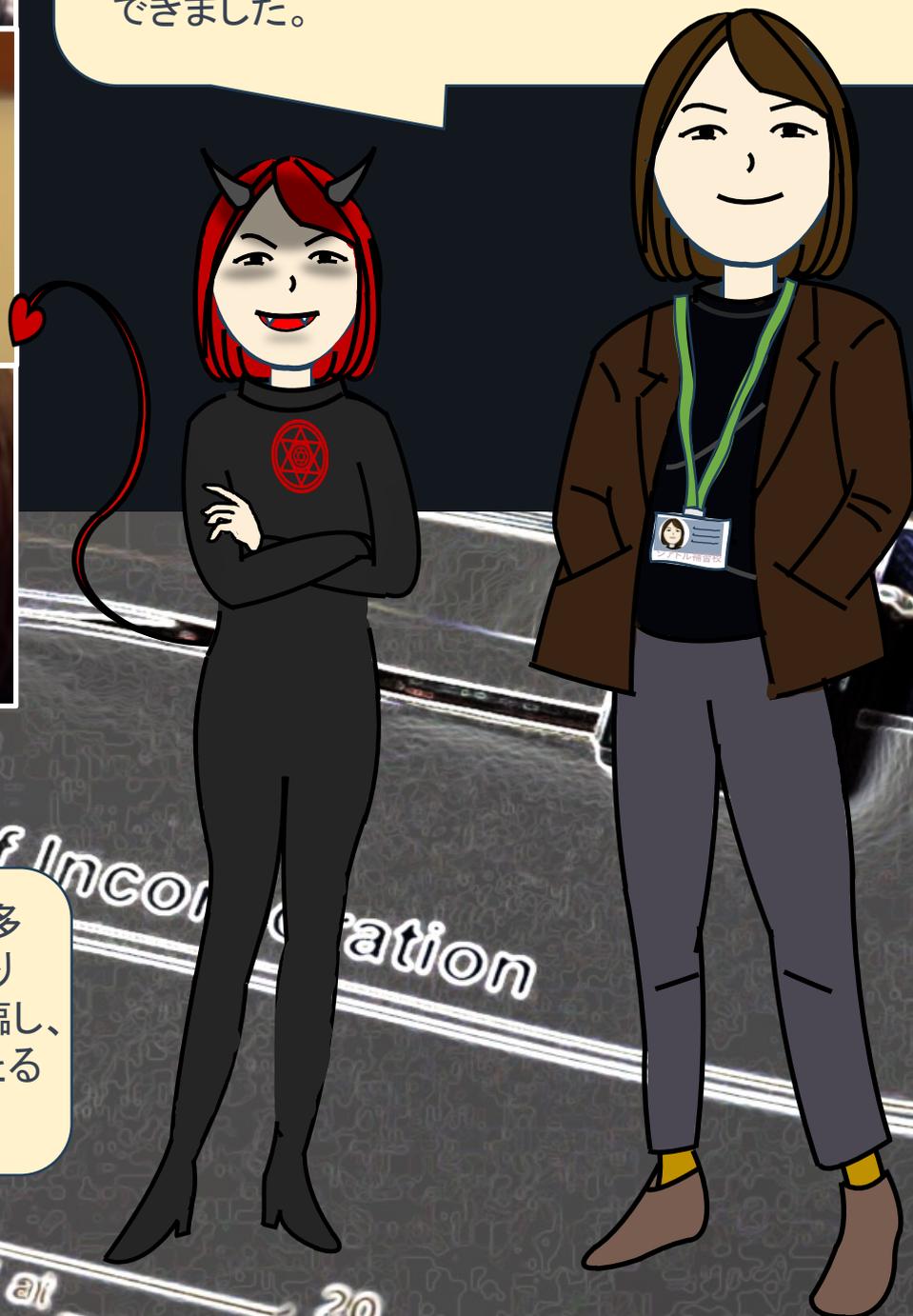
*PayPal app and account required

マダム・フール・フッテン



経験豊富なフッテンさんは、会計部の頼れるネゴシエーター。折衝においては怒れる女神、またの名をブラック・フッテンの異名をもち、銀行との交渉においてその力を存分に発揮し、チームを導きました。

バンクアカウントの変更に関する手続きは複雑です。今年度も、情報の不一致や要求事項の変更が頻繁に起こりましたが、なんども銀行まで足を運びなおすことになりましたが、チームメンバーの支えにより乗り切り、無事、手続きを終えることができました。



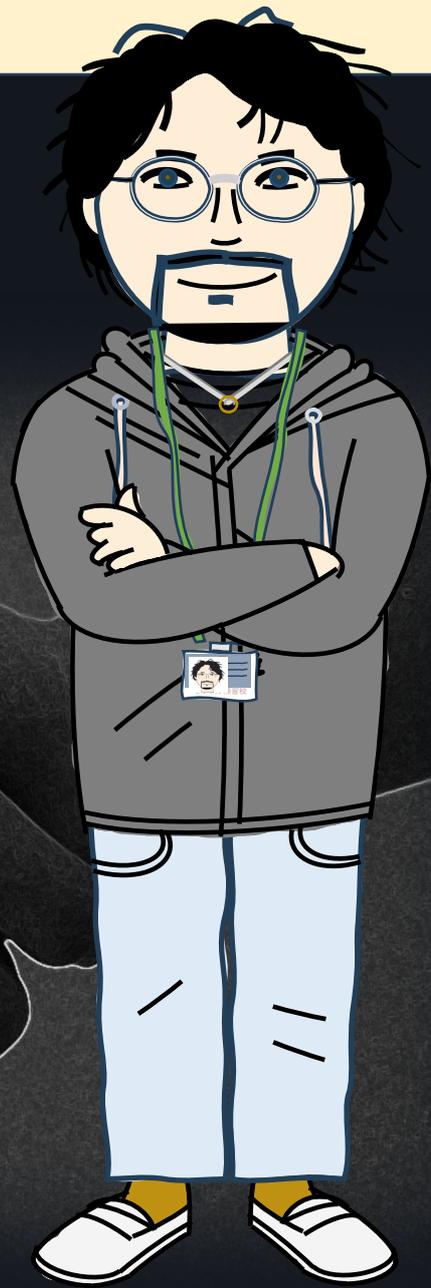
ただし、理不尽な事柄が多発した場合、闇の世界よりブラック・フッテンが降臨し、「迅速な」問題解決に当たるのだそうです。。

ムッシュ・ゴムゴム・ヒロセ

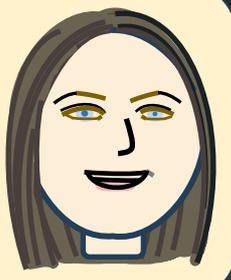


チョイ怖の外見とは裏腹に、気配り上手。春の委員会で振るった熱弁に感銘を受けた多くの保護者から寄付金をいただきました。部内のプロジェクトを外部に発信し、協力を得る外交センスをも持ち合わせます。謙虚な熱血漢は揺るぎないチームの大黒柱です。

会計部の仕事を初めはお金のことだと思っていましたが、実際には人と人を繋ぐ役割を果たすことが、一番重要な要素と感じるようになりました。お金よりも人間関係の構築に焦点を当てた仕事だというのが、今のぼくの感想です。

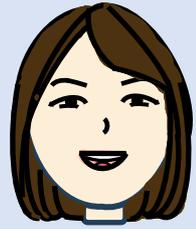


3人の精鋭からなるチームをまとめる弘瀬さん。奥さまのクリステンさんのご協力もあり、補習校PTAを財政面から支えています。



- 会計部の仕事を、一言でざっくり言うと。

1年間のイベントが子供たちに楽しんでもらえるように、資金の管理を裏で支え、必要な額を把握します。意外と多岐に渡るし、一言で言えないかも(笑)



確かに、裏方での貢献が多いです。様々なイベントに横串で関わり、運動会、古本市、図書委員会など、少しずつ裏方で支えていく役割だと感じています。

基本的には、それで。でもお金ではなく人間関係が重要だと感じています。

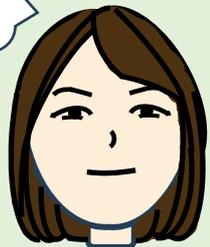


- 会計業務の経験や、専門知識は必要ですか？

会計知識ゼロではじめましたが、多くのことを学びました。お金の流れや出入りの仕組みなど、学んだ知識が本業の仕事に大いに役立っています。

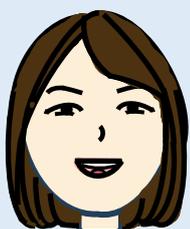


僕も会計の知識は全然ありませんでした。



- 会計っていうと、帳簿を付けてるような、簿記のイメージが強いのですが。

単式簿記ですし、そんな難しい知識は必要ありません。むしろ、必要なのはコミュニケーション力かな。

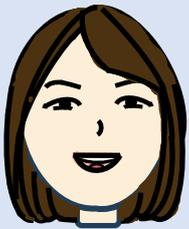


そう、そう。一番必要。

- それはどの仕事においても言えることかもしれないですね。

- 会計部員をやっていてよかったと思うことはありますか？

自分の子供の代とは異なる親御さんとも、世代を超えて交流し、関わり合う楽しさがあります。そしてやはり、お金を節約できたり、増やすことができたらうれしいですね。



そう、寄付もらった時、ほんと、ありがとうって。なんか、泣きそうになりますよね。

自分事になる感ありますよね、その、いままで会計予算？ふーん。みたいだったのが、実際お金が入ってくるのを知るとうれしい、というか。

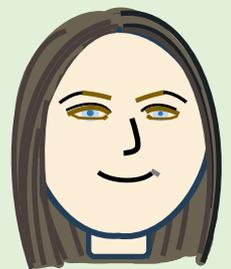


肌感覚が生まれると言いますかね、今まで、ま、誰かがいい感じに回してくれてんだらうみたいなものが、そこに関わりがあるわけですから。

- なるほどね、やっぱり動きが見えると、また感覚も違ってくるってということですね。

- 逆に苦勞されていることは何ですか？

銀行のガバナーやサイナーの登録かな。新しいメンバーが入るたびにやり直さないとならないし。今年は両方とも色々あったから。また来年もやらなきゃいけないと考えると。



- 本来、頻繁にメンバーが変わるべき仕事じゃないのかもしれませんがね。



会計部の任期は二年ですが、一年延長できますので、三年間、腰を据えて仕事をすることもできますよ！

- 今年度のモットーなどありますか？

3万ドルの資金を維持し、繰り越すというラインを守ること。そのうえで、5万ドルを目標に積み立てて行きたい。そうすることにより銀行の利子を得ることもできますから、活動費やより大きな行事の資金源として活用できます。

今はそれを目指していくターニングポイントにいる。その仕事をするために、今、自分は会計にいるのかなと考えています。

- 頭が下がります。では、今年ではできなくとも将来的に実現できたらいいな、と思うことはありますか？



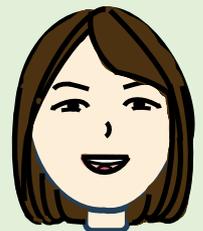
各委員会が必要な資金を自力で調達するファンドレイジングの仕組み - そのようなものを作ったらどうか、という思いはありますね。

たとえば、予算に含まれていない支出が必要な場合、委員会はその購入費用の寄付を募り、会計部が寄付を受け付けるためのリンクを提供する。予算に制約されることなく、各委員会が自主的に資金を調達できてもいいんじゃないかと。

- なるほどね、能動的な資金集めの活動もあってもいいのでは、ということですね。

- 最後に、来年の会計部員になられる方々にメッセージやアドバイスなどあれば。

メンバーに支えられて活動できて、楽しい思いもできます。会計の知識もつきますし。



最初は何もわからなかったですが、今は会計部やPTAの仲間に出会える土曜日が楽しみになりました！会計部、和気あいあいとやっています!! ご興味ある方、ぜひ来年度、会計部で一緒にしましょう!!!

- 楽しいこともあると聞いてほっとしました。皆さんの苦勞がPTAを支えているんですね。会計部の皆さんの日々の活動に、あらためて感謝です。本日はどうもありがとうございました。



数字を睨む目も真剣そのもの。。



ていうか、すごい近視。。。？



うーん。。なんかやらせっぽいですね。でも仲の良いチームなのでしょうね。

寄付を募るといってもなかなか難しいですね。私も給料安いので多くは寄付できません。

取材中



そういえば、今日、橋本さんからボランティア時間のマッチングの話聞いたな。なんだっけな。確か。



え？それじゃ、私が補習校でボランティアしたら、私の会社が補習校にお金を払ってくれるんですか？

企業マッチングにも大きく2種類あるんです。寄付した金額を会社がマッチングしてくれる場合と、そのNGOでボランティアした時間を対価としてマッチングしてくれる場合と。

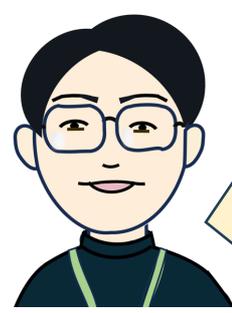
お金でなく、ボランティア活動をした時間をマッチングしてくれる企業もあるんですよ。

なんですか？それは。

はい、でもそれはアラシさんの会社にHour Matchの制度があればの話です。



そうなんです。それなら私の懐は傷まないのうれしいですね。でも私はPTAの仕事はあまりしていないのですよね。今度、古本市のボランティアはやりませんが。



企業によっては、「補習校のPTAで何時間働きました」と会社に申請すると、会社が補習校に、ボランティア活動に費やした時間に該当する金額を払い込んでくれる制度があります。その場合も、企業ごとにマッチング額は異なります。

むむむ。おもいだした！ちょっと会社行って聞いてみよう！



まずは、会社に制度があるか調べてもらうことですね。私達では皆さんの会社の制度のことはわからないので、ご自分で会社の担当部署に聞いていただくことになります。

ワシントンでもマイクロソフトやスターバックスなど多くの企業がこの制度を採用していますよ。

* 詳しい情報はPTA事務局までお問い合わせください



そうなんです。では、何から始めたらいいですか？

これもまた、企業の制度によるんですが、1時間から申請できる会社もあるらしいですよ。だから、古本市の本を運んだり、運動会で綱引きした1時間でもいいんです。



さて、今回も潜入ルポは大成功だったのかはわかりませんが、記者も取材をすっかり忘れてみなさんの武勇伝に聞き入っていました。

普段、当たり前のように使わせてもらっている予算、運営されるイベント。その裏には資金の確保に日々奔走し、屋台骨を支えている人たちの並々ならぬ苦労と努力があったと取材を通じて知ることができました。財政の管理だけでなく、イベントの成功に向けて人とのつながりを構築し、貢献することが求められています。その一方、大きな注目を浴びず、地道な日々の努力の積み重ねが実態です。私たちの補習校の未来を背負う彼らに今一度、感謝の気持ちを伝えたく、今回のルポルタージュを締めくくりたいと思います。会計部の皆さん、ありがとうございます。

あ、もうこんな時間ですね。そろそろ次の取材に行かないと！
ではみなさん、次号でお会いしましょう。

- アラン T



編集後記

取材を通じ、会計部のお仕事の大変さをあらためて痛感しました。具体的には、4月に銀行のガバナー登録が行われ、5月には各委員会と連携して予算案を共有し、必要な見直しを実施します。6月からはPTA会費の徴収が行われ、9月から10月にかけては上半期の決算報告が行われます。3月になると、決算報告と監査が行われ、次年度への引継ぎが完了します。その他にも、古本市やベークセールなど、各委員会の活動に応じて作業が発生します。一方で、仕事は毎日少しずつ行われ、集中的な作業よりも日常的な業務が多いとのことでした。また紙面の都合(とコンプライアンス上の理由で。。)で割愛しましたが、貴重な武勇伝も興味深く伺いました。

会計部の部員は3名の正規部員に、弘瀬さんの奥さまのクリステンさんと橋本さんの奥さまのともこさんも含めて5名で活動しています。部員の任期は2年で、務めると5年の免除期間が設けられているそうなので、任期完了後はゆっくり休んでいただきたいですね。

人と人のつながりを構築することが主な仕事だという弘瀬さんの言葉。これは私たち人間が行うすべての活動に当てはまることかもしれませんね。会計部の皆さん、あらためて日々の貢献に感謝です。

広報部 編集室

2023年 晩秋

万が一彼らを怒らせたらどうなるのでしょうか。



いやはや、敵に回したくないチームですね。(編)